授業科目名	ピアノ調律理論Ⅱ			授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記 ピアノ調律理論 Ⅱ		年次	2年	次	
授業時間	90分(1単位時間45分) 年間授業数			18回(36単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース		ピアノ調律コース、ヒ		教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	楽器店に勤務後、フ	条器店に勤務後、フリーランスの調律師として活動中。				

授業概要

グランドピアノを構成する部品の名称、役割を学ぶ。 「調律理論 I 」で学んだ知識を活用し、調律理論(アップライト・グランド)、整調理論(アップライト。グランド)、修理理論、構造理論について学ぶ。

到達目標

それぞれの理論に対する知識の習得。ピアノ調律技能検定試験に出題されるため、合格を目標とする。 仕事の現場において素早く、柔軟な対応が可能な知識の習得。

	授業計画・内容
【前期】 1~2回目	グランドピアノと部品とその動き
【前期】 3回目	調律理論 ・検査音程・下律
【前期】 4~7回目	整調理論(グランドピアノ)アクション系全24工程の項目について 第1工程:ネジ締め 第2工程:フレンジ点検 第3工程:ハンマー間隔直し 第4工程:ハンマー走り直し 第5工程:ハンマー角度調整 第6工程:弦合わせ 第7工程:鍵盤調整 第8工程:ベディングスクリュー調整 第9工程:鍵盤ならし 第10工程:鍵盤間隔直し 第11工程:白鍵あがき 第12工程:サポート合わせ 第13工程:ジャック前後調整 第14工程:ジャック高さ調整 第15工程:ハンマーならし 第16工程:ハンマー接近 第17工程:ハンマー戻り 第18工程:黒鍵あがき 第19工程:働き調整 第20工程:バックチェック合わせ 第21工程:バックチェックワイヤー曲げ 第22工程:ハンマーストップ 第23工程:レペティションレバースプリング調整 第24工程:アクション系総点検
【前期】 8~10回目	材料学について ・アッパーブリッジ・ヒッチピン・プレッシャーバー・ハンマーヘッド・ハンマーシャンク・ハンマーヘッド ・キャッチャー・ウイペン・ジャック・バックチェック・ブライドルワイヤー・ダンパースプーン・ダンパー ・ダンパーストップレール・ダンパーロッド・ジャックストップレール・レギュレチングレール
【前期】 11~13回目	修理について ・アップライトピアノの張弦 ・バットフレンジコードの交換 ・ハンマーシャンクの修理
【後期】 14~15回目	張弦キットを使用した張弦方法 1. 張弦キットの張弦方法 2. アップライトピアノの張弦との違いについて 3. ピアノ調律技能検定試験内容の説明
【後期】 16~18回目	整調理論(アップライト)について ・アップライトピアノの整調、全24工程について ・ピアノに起こる故障と原因について ・故障が起こりやすい箇所、故障の発見
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
備考	

授業科目名		管楽器修理概論Ⅱ			講義	必修	
	学則上表記	学則上表記 管楽器修理概論 II			年次 2年次		
授業時間	90分(1単位	時間45分)	年間単位数	1単位			
科目設置コース		ピアノ/管	楽器コース		教員の 実務経験の有無	非該当	
担当講師 実務経歴							
			授業概要				
1年次に学んだ基礎	的な調整方法を元に、	より細かな木管楽器	より は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	里の方法論を学ぶ。			
			지수미부				
			到達目標				
どんな状況でも修理	対応ができる基礎力の	の修得。					
			授業計画 内容				
【前期】 1~2回目	フルート/クラリネット	連動調整					
【前期】 3~4回目	フルート調整 ラック:	タンポ交換、アゴ調整	を、ヘッドコルク交換				
【前期】 5~6回目	クラリネット調整 レジ	クラリネット調整 レジスターキータンポ交換、リング高さ調整					
【前期】 7~9回目							
【後期】 10~11回目							
【後期】 12~13回目	金管楽器 ハンダ付け						
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)						

授業科目名	管楽器商品知識Ⅱ			授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	管楽器商	j品知識 Ⅱ	年次	2年	≅次	
授業時間	90分(1単位時間45分) 年間授業数			15回(30単位時間)	年間単位数	2単位	
科目設置コース	ピアノ/管楽	ピアノ/管楽器コース、管楽器リペアコース、管楽器/打楽器コース 教員の 実務経験の有無 非該当					
担当講師 実務経歴		X-1974-ESC-17 III					

授業概要

ホルン・トロンボーン・ユーフォニウム・チューバ・オーボエ・ファゴット・マーチングブラス・アクセサリーの楽器・製品説明を、動画配信によるオンライン授業形式で学ぶ。

到達目標

楽器の特徴・メカニズム・システムから、メーカーごとの特徴・売りなど、販売修理知識の修得。

授業計画・内容					
【前期】 1~4回目	ホルン概要・製品解説				
【前期】 5~8回目	トロンボーン概要・製品解説				
【後期】 9回目	ユーフォニウム概要・製品解説				
【後期】 10~11回目	チューバ概要・製品解説				
【後期】 12回目	オーボエ概要・製品解説				
【後期】 13回目	ファゴット概要・製品解説				
【後期】 14回目	マーチングブラス概要・製品解説				
【後期】 15回目	アクセサリー製品解説				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					

授業科目名	調律実技Ⅱ-B			授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記 調律実技Ⅱ-B		年次	2年	次	
授業時間	90分(1単位時間45分) 年間授業数			78回(156単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース		ピアノ/管	教員の 実務経験の有無	該当		
担当講師 実務経歴	中古ピアノ店に15年	務め、中古ピアノの訓	周律、整調、修理、運	送などに携わり、現在	は委託の調律師とし	て活動中。

授業概要

毎日違うピアノ(YAMAHA、KAWAI、アポロのアップライトやYAMAHA、KAWAIのグランド)のブースに入り、調律を行う

到達目標

アップライトは1台70分で調律する。 「ピアノ調律技能検定 実技試験」合格

- C / / IMPH MILL M						
	授業計画・内容					
【前期】 1~9回目	ピッチ2Hz変更1台 120分					
【前期】 10~19回目	28C~64C 割振・オクターブ調律・ユニゾン調律 70分					
【前期】 20~29回目	442Hzへ2Hz変更 120分 下律…約30分 本調律…約90分					
【前期】 30~39回目	ピアノ演奏 ・自由曲の選曲 ・練習してきたもののチェック その後 直し ・通しレッスン					
【後期】 40~49回目	442Hzへ2Hz変更 100分 下律…約20分 本調律…約80分					
【後期】 50~59回目	4Hz上げ 110分 下律込み。					
【後期】 60~68回目	ピッチ変更なし 1台70分 本調律のみ。					
【後期】 69~78回目	演奏レッスン ・強弱、表現のレッスン ・テンポ確認のレッスン ・通しレッスン(タイムを計る) ・通しレッスン仕上げ					
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						

授業科目名	整調修理実技 II 一B			授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	整調修理実技 II -B		年次	2年	≅次
授業時間	90分(1単位時間45分) 年間授業数			38回(76単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース		ピアノ/管	教員の 実務経験の有無	該当		
担当講師 実務経歴 楽器店に15年ほど勤め、その後ピアノ調律事務所を独立開業し、現在に至る。						
	•	•		•	•	

授業概要

調律理論Ⅱで学んだ知識をもとに実習(反復練習)を行う。

到達目標

総合的な修理、整調(アップライト・グランド)、再生技術の修得。

	「ピアノ調律技能検定 実技試験」合格						
	授業計画・内容						
【前期】 1~11回目	アクションモデルを使用し、グランドピアノ整調のアクション系全24工程の講義を受けながら、 作業の手順や工具の使い方を覚える。						
【前期】 12~17回目	アップライトピアノの張弦						
【前期】 18~19回目	ハンマーシャンクの修理						
【後期】 20~21回目	ハンマーシャンクの修理						
【後期】 22~25回目	ピアノ調律技能検定 実技試験に向けて アップライトピアノのアクションモデルを使用しポイントとなる工程の練習						
【後期】 26~29回目	ピアノ調律技能検定 実技試験に向けて 「ピアノ調律技能検定 実技試験」で使用する張弦キットを用いての張弦						
【後期】 30~32回目	試験練習(30分×2セット) 判定後、直し						
【後期】 33~35回目	試験練習(15分×3セット) 判定後、直し						
【後期】 36~38回目	1台整調						
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出・内容、出席率等を総合的に評価)						
備考							

備考

授業科目名	管楽器修理応用			授業形態 / 必・選	実習	必修	
汉未行 日石	学則上表記	管楽器傾	多理応用	年次	2年		
授業時間	90分(1単位	時間45分)	年間授業数	94回(188単位時間)	年間単位数	6単位	
科目設置コース		ピアノ/管	楽器コース		教員の 実務経験の有無	非該当	
担当講師 実務経歴							
			授業概要				
ルート・クラリネッ	ル・サックス・トランペッ	ト・トロンボーン・ホル	ンの修理方法の実践	È.,			
			到達目標				
年次の基礎を元に	こ、より早く、より正確に	楽器調整を完了させ	·ð。				
			授業計画 内容				
【前期】 1~47回目 【後期】 48~94回目	木管楽器リペア フル換	レート タンポ交換調	整・連動調整・バラン	ス調整・ヘッドコルク交	を換・キィコルク交換・	バネ調整・パーツヨ	
	木管楽器リペア クラ	木管楽器リペア クラリネット タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ジョイントコルク交換・バネ調整・パーツ交換					
	木管楽器リペア サッ	木管楽器リペア サックス タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ネックコルク交換・バネ調整・パーツ交換					
	金管楽器リペア ハン	ンダ付け・ピストン調素	を・スライド調整・ロー	タリー調整			
評価方法	学期末の課題提出の 席率等を総合的に評		単過程を加味した技術	f点評価、及び平常点	(授業態度、レポート	提出状況・内容、出	

楽器ごとの実習班に分かれた作業のため、履修楽器が順番に代わる。

授業科目名	ピアノ業界知識Ⅱ			授業形態 / 必・選	講義	必修		
DANIE I	学則上表記	ピアノ業	界知識Ⅱ	年次	2年次			
授業時間	90分(1単位	z時間45分)	年間授業数	2回(4単位時間)	年間単位数	0単位		
科目設置コース		ピアノ調律コース、ビ	ピアノ/管楽器コース		教員の 実務経験の有無	非該当		
担当講師 実務経歴								
			授業概要					
楽器業界の企業に。	よる製品・技術セミナ-	-やリクルートセミナ-	_					
			到達目標					
楽器の専門知識の	実践と、実際の応用方	i法を理解する						
			授業計画・内容					
【前期】 1回目	調律師としてのマナー講座(言葉遣い、身だしなみなど) 現場を想定したシミュレーション							
【後期】 2回目	学期業界の企業による製品・技術セミナー							
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)							
備考								

授業科目名	販売実習			授業形態 / 必・選	演習	必修		
DATE T	学則上表記	販売	実習	年次	2年	=次		
授業時間	90分(1単位	拉時間45分)	年間授業数	8回(16単位時間)	年間単位数	1単位		
科目設置コース		ピアノ調律コース、ヒ	ピアノ/管楽器コース		教員の 実務経験の有無	非該当		
担当講師 実務経歴								
			授業概要					
実践的な接客や販売	売(販売する商品の提	実や、当日までの準	備、予算内での工夫を	など)について学ぶ。				
			到達目標					
接客や販売の基本的	的なスキルを身に着け	ける。						
			授業計画·内容					
ESP学園主催イベントでの店舗運営について ・販売する商品の提案 ・予算計画 【後期】 ・販売するための事前準備 ・売上の目標設定 ・接客体験								
評価方法	評価方法 平常点(授業態度、レポート提出・内容、出席率等を総合的に評価)							

接乗料目名 調律応用実技(アップライト)A 接乗整理 選択 接乗時間 90分(1単位時間4分) 年間授棄数 40回(80単位時間4分) 年間授棄数 40回(80単位時間4分) 年間授棄数 40回(80単位時間4分) 接当 2単位 数目の 表書 表書 表書 表書 表書 表書 表書 表	サロテ校にの	エンタティング	アルス こり	ノ D内 1手 1 イ						
学則上表配 調律応用実技(アップライト)A 年次 2年次 授業時間 90分(1単位時間45分) 年間授業数 40回(80単位時間) 年間単位数 2単位 料目設置コース ピアノノ管楽器コース 東務経験の有無 該当 投票報酬 中古ピアノ店に15年務め、中古ピアノの訓律、整調、修理、運送などに携わり、現在は委託の訓律師として活動中。 投票報酬 毎日違うピアノ(YAMAHA、KAWAI、アポロ)のブースに入り、訓律を行う。 到速目標 パランス良く1台訓律をする。 ピアノ訓律技能検定 実技試験]合格 【前期】 1~20回目 ピッチ2Hz変更 1台訓律 110分	将	調律』	芯用実技(アップライ	(H) A	授業形態 / 必・選	実習	選択			
科目設置コース セフノ/管楽器コース 教員の実務経験の有無 該当 投票概要 中古ピアノ店に15年務め、中古ピアノの調律、整額、修理、運送などに携わり、現在は委託の訓律師として活動中。 (中国達)ピアノ(YAMAHA、KAWAI、アポロ)のブースに入り、調律を行う。 別連目標 (プランス良く1台調律をする。 ピアノ訓律技能検定 実技試験」合格 授業計画・内容 【前期】 1~20回目 ビッチ2Hz変更 1台調律 110分	DANIE	学則上表記	調律応用実技	(アップライト)A	年次	2年	次			
# 日本	授業時間	90分(1単位)	時間45分)	年間単位数	2単位					
大学	科目設置コース									
毎日違うピアノ(YAMAHA、KAWAI、アポロ)のブースに入り、調律を行う。		中古ピアノ店に15年教	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー							
到達目標				授業概要						
(でアノ調律技能検定 実技試験」合格 投業計画・内容 でッチ2Hz変更 1台調律 110分 でッチ2Hz変更 1台調律 100分 で・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	毎日違うピアノ(YAM	IAHA、KAWAI、アポロ)	のブースに入り、調	律を行う。						
(でアノ調律技能検定 実技試験」合格 投業計画・内容 でッチ2Hz変更 1台調律 110分 でッチ2Hz変更 1台調律 100分 で・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				到海日垣						
【前期】 ピッチ2Hz変更 1台調律 110分 「後期】 21~40回目 ピッチ2Hz変更 1台調律 100分 10	バニンフ 白ノ1 公譲名	またす る		判廷日保						
【後期】 21~40回目 ピッチ2Hz変更 1台調律 110分										
1~20回目 ピッチ2Hz変更 1台調律 110分 【後期】 21~40回目 ピッチ2Hz変更 1台調律 100分				授業計画·内容						
21~40回目 ピッチ2Hz変更「台調律 100分		ピッチ2Hz変更 1台訓	月律 110分							
評価方法 学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)		_ ピッチ2Hz変更 1台訓	引律 100分							
	評価方法	学期末の試験、及び ³	平常点(授業態度、)	ンポート提出状況・内]容、出席率等を総合的	りに評価)				

授業科目名	調律原	む用実技(アップライ	⊦)B	授業形態 / 必・選	実習	選択
汉未行日石	学則上表記 調律応用実技(アップライト)B		(アップライト)B	年次	2年》	欠
授業時間	90分(1単位	時間45分)	年間授業数	80回(160単位時間)	年間単位数	5単位
料目設置コース		ピアノ/管:	楽器コース		教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	中古ピアノ店に15年剤	られている。 それで、中古ピアノの調]律、整調、修理、運	『送などに携わり、現在	は委託の調律師として	活動中。
			授業概要			
ーー 日違うピアノ(YAM	AHA、KAWAI、アポロ)	のブースに入り、調行	津を行う。			
			到達目標			
	************************************		为左口城			
	ミ 実技試験」合格					
			授業計画·内容			
【前期】 1~40回目	ピッチ2Hz変更 1台調	3律 95分				
【後期】 41~80回目	ピッチ2Hz変更 1台調]律 90分				

授業科目名	調律	応用実技(アップライ	F)C	授業形態 / 必・選	実習	選択		
投票 科日名	学則上表記	学則上表記 調律応用実技(アップライト)C		年次	2年	次		
授業時間	90分(1単位	時間45分)	年間授業数	120回(240単位時間)	年間単位数	8単位		
科目設置コース		ピアノ/管	楽器コース		教員の 実務経験の有無	該当		
担当講師 実務経歴	中古ピアノ店に15年新	中古ピアノ店に15年務め、中古ピアノの調律、整調、修理、運送などに携わり、現在は委託の調律師として活動中。						
			授業概要					
_{毎日違うピ} アノ(YAN	IAHA、KAWAI、アポロ)	のブースに入り、調	津を行う。					
			到達目標					
 バランス良く1台調律	またす る		刘是口馀					
	ませる。 定 実技試験」合格。さ	まざまな現場での業	務に対応出来る技術	析習得。				
			授業計画 内容					
【前期】 1~60回目	ピッチ2Hz変更 1台記	引律 85分						
			•		•			
【後期】 61~120回目	ピッチ2Hz変更 1台記	引律 80分						

授業科目名	調律	応用実技(アップライ	(H)D	授業形態 / 必・選	実習	選択		
授耒科日 名	学則上表記 調律応用実技(アップライト)D		(アップライト)D	年次	2年	次		
授業時間	90分(1単位	時間45分)	年間授業数	160回(320単位時間)	年間単位数	10単位		
科目設置コース		ピアノ/管	楽器コース		教員の 実務経験の有無	該当		
担当講師 実務経歴	中古ピアノ店に15年系	中古ピアノ店に15年務め、中古ピアノの調律、整調、修理、運送などに携わり、現在は委託の調律師として活動中。						
			授業概要					
事日違うピアノ(YAM	IAHA、KAWAI、アポロ)	のブースに入り、調	律を行う。					
			到達目標					
 バランス良く1台調信	 ⊌をする		刘是口味					
	定 実技試験」合格。さ	まざまな現場での業	務に対応出来る技術	析習得 。				
			授業計画・内容					
【前期】 1~80回目	ピッチ2Hz変更 1台訂	引律 75分						
		<u> </u>			-			
【後期】 81~160回目	ピッチ2Hz変更 1台 訂	制律 70分						

授業科目名	調律実技(グランド)A				実習	選択	
20011111	学則上表記	調律実技(グランド)A		年次	2年	□次	
授業時間	90分(1単位	時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	2単位	
科目設置コース		ピアノ/管	楽器コース		教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	調律事務所にてピア	律事務所にてピアノ調律業務に携わり、その後フリーランスの調律師として活動中。					
			授業概要				

YAMAHA、KAWAIのグランドピアノを使用し、110分で調律を行う。

到達目標

グランドピアノの調律を習得し、1台110分以内で仕上げることを目標とする。

グランドピアノの調律	まを習得し、1台110分以内で仕上げることを目標とする。
	授業計画・内容
【前期】 1~20回目 【後期】 21~40回目	■グランドピアノ調律の準備 ・屋根の開け方、鍵盤蓋・譜面台の取り外し方法 ・アップライトピアノとの調律方法の違い ・各セクションでの工具の使用方法 ■調律方法 ・ビッチ採り、割振り 音叉を使用し、440Hz 442Hzどちらかのピッチに合わせる。 その後、37A-42Dから割振りを始める。 ・中音オクターブの調律 ・低音オクターブ調律 ・高音オクターブ調律 ・高音オクターブ調律 ・低音、高音、中音 各セクションのユニゾン調律 ■各セクションでの工具の使い方について 調律方法はアップライトピアノとほぼ同じだが、工具の使用方法や使用個所は異なるところもある。
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
備考	上記工程を反復行うことで、グランドピアノならではの音を感覚的に捉えられるようにり、繰り返すほどその感覚は優れたものとなり、調律精度の向上、時間の短縮につながり、調律師としての技術力が向上する。

授業科目名		調律実技(グランド)E	3	授業形態 / 必・選	実習	選択	
201111111	学則上表記	調律実技(グランド)B		年次	2年	□次	
授業時間	90分(1単位	西問45分)	年間授業数	80回(160単位時間)	年間単位数	5単位	
科目設置コース		ピアノ/管	楽器コース		教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	調律事務所にてピア	律事務所にてピアノ調律業務に携わり、その後フリーランスの調律師として活動中。					
	授業概要						

YAMAHA、KAWAIのグランドピアノを使用し、110分で調律を行う。

到達目標

. グランドピアノの調律を習得し、1台100分以内で仕上げることを目標とする。

グラントピアノの調査	『を省得し、1台100分以内で仕上げることを目標とする。
	授業計画・内容
【前期】 1~40回目 【後期】 41~80回目	■グランドピアノ調律の準備 ・屋根の開け方、鍵盤蓋・譜面台の取り外し方法 ・アップライトピアノとの調律方法の違い ・各セクションでの工具の使用方法 ■調律方法 ・ビッチ採り、割振り 音叉を使用し、440Hz 442Hzどちらかのピッチに合わせる。 その後、37A-42Dから割振りを始める。 ・中音オクターブの調律 ・低音オクターブ調律 ・高音オクターブ調律 ・高音オクターブ調律 ・低音、高音、中音 各セクションのユニゾン調律 ■各セクションでの工具の使い方について 調律方法はアップライトピアノとほぼ同じだが、工具の使用方法や使用個所は異なるところもある。
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
備考	上記工程を反復行うことで、グランドピアノならではの音を感覚的に捉えられるようにり、繰り返すほどその感覚は優れたものとなり、調律精度の向上、時間の短縮につながり、調律師としての技術力が向上する。

授業科目名		ピアノ修理実技A		授業形態 / 必・選	実習	選択
DANIE I	学則上表記 ピアノ修理実技A		理実技A	年次	2年	次
授業時間	90分(1単位	ɪ時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース		ピアノ/管	楽器コース		教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	調律事務所に2年半メンテナンスを中心に		ノ調律・調整に携わり)、現在はフリーランス	として 中古ピアノの(修理や施設のピアノ
			授業概要			
1年次に修得した技	術の応用に新たな技術	析を加え、各部品の値	多理を行う。			
			到達目標			
反復練習による精原 「ピアノ調律技能検	度、速度等の技術力向 定 実技試験」合格	上。				
			授業計画·内容			
	グランドピアノのセン	ターピン交換				
【前期】 1~20回目	アップライトピアノの	脹弦				
	ハンマーシャンクの作	多理				
	ハンマーシャンクの(細かい修理(ブライド		゚リングコード、バット	スプリング)		
【後期】	ピアノ調律技能検定 「ピアノ調律技能検定		^ト る張弦キットを用い	ての張弦		
21~40回目	試験練習(30分×2七	ヹット) 判定後、直し				
	試験練習(15分×3-	セット) 判定後、直し				
評価方法	学期末の試験、及び	平常点(授業態度、	レポート提出状況・内]容、出席率等を総合的	的に評価)	

授業科目名		ピアノ修理実技B		授業形態 / 必・選	実習	選択			
DANIE I	学則上表記	ピアノ修	理実技B	年次	2年	Ĕ 次			
授業時間	90分(1単位	90分(1単位時間45分) 年間授業数 80回(160単位時間) 年間単位数 5.							
科目設置コース		ピアノ/管	楽器コース		教員の 実務経験の有無	該当			
担当講師 実務経歴		周律事務所に2年半勤め、個人宅のピアノ調律・調整に携わり、現在はフリーランスとして 中古ピアノの修理や施設のピアノ メンテナンスを中心に活動中							
			授業概要						
1年次に修得した技	術の応用に新たな技	術を加え、各部品の何	修理を行う 。						
			到達目標						
反復練習による精度 「ピアノ調律技能検?	E、速度等の技術力向 定 実技試験」合格	上。							
			授業計画·内容						
	グランドピアノのセン	/ターピン交換							
【前期】 1~40回目	アップライトピアノの	張弦							
	ハンマーシャンクのイ	修理							
	ハンマーシャンクの(細かい修理(ブライト		^プ リングコード、バットス	スプリング)					
【後期】		ま技試験に向けて 定 実技試験で使用す	する張弦キットを用い	ての張弦					
41~80回目	試験練習(30分×2년	セット) 判定後、直し							
	試験練習(15分×3·	セット) 判定後、直し							
評価方法	学期末の試験、及び	『平常点(授業態度、	レポート提出状況・内	容、出席率等を総合的	りに評価)				

		ノー 本水 こ /	· 10-3 [T-]]						
授業科目名		ピアノ修理実技C 授業形態 / 必・選 実習 選							
DANIA I	学則上表記 ピアノ修理実技C		理実技C	年次 2年次		F 次			
授業時間	90分(1単位時間45分) 年間授業数 120回(240単位時間) 年間単位数								
科目設置⊐一ス		ピアノ/管楽器コース 教員の 該当							
担当講師 実務経歴		調律事務所に2年半勤め、個人宅のピアノ調律・調整に携わり、現在はフリーランスとして 中古ピアノの修理や施設のピアノ メンテナンスを中心に活動中							
			授業概要						
1年次に修得した技	術の応用に新たな技術	ffを加え、各部品のℓ	多理を行う。						
			到達目標						
	き、速度等の技術力向 定 実技試験」合格。B		支術を身に着ける。						
			授業計画·内容						
	グランドピアノのセン	ターピン交換							
【前期】 1~60回目	アップライトピアノの引	長弦							
	ハンマーシャンクの修	§理							
	ハンマーシャンクの(細かい修理(ブライド		゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	スプリング)					
【後期】	ピアノ調律技能検定 「ピアノ調律技能検定		^ト る張弦キットを用い	ての張弦					
61~120回目	試験練習(30分×2七	zット) 判定後、直し							
	試験練習(15分×31	ヱット) 判定後、直し							
評価方法	学期末の試験、及び	平常点(授業態度、	レポート提出状況・内]容、出席率等を総合的	内に評価)				

阿弗拉口 在		ピアノ修理実技D		授業形態 / 必•選	実習	選択			
授業科目名	学則上表記 ピアノ修理実技D		理実技D	年次	2年	次			
授業時間	90分(1単位時間45分) 年間授業数 160回(320単位時間) 年間単位数 10								
科目設置コース		ピアノノ管楽器コース 教員の 実務経験の有無 該当							
担当講師 実務経歴		間律事務所に2年半勤め、個人宅のピアノ調律・調整に携わり、現在はフリーランスとして 中古ピアノの修理や施設のピアノ シテナンスを中心に活動中							
			授業概要						
1年次に修得した技	術の応用に新たな技術	うを加え、各部品の修	§理を行う。						
			到達目標						
	を、速度等の技術力向。 定 実技試験」合格。即		支術を身に着ける 。						
			授業計画 内容						
	グランドピアノのセンタ	ターピン交換							
【前期】 1~80回目	アップライトピアノの引	長弦							
	ハンマーシャンクの修	理							
	ハンマーシャンクの修 細かい修理(ブライド		リングコード、バット	スプリング)					
【後期】	ピアノ調律技能検定 「ピアノ調律技能検定		る張弦キットを用い	ての張弦					
81~160回目	試験練習(30分×2セ	ット)判定後、直し							
	試験練習(15分×3七	パット) 判定後、直し							
評価方法	学期末の試験、及び	平常点(授業態度、レ		容、出席率等を総合的	りに評価)				

授業科目名	整調応用実技(アップライト)A			授業形態 / 必・選	実習	選択	
DANIE I	学則上表記	整調応用実技	(アップライト)A	年次	2年	≅次	
授業時間	90分(1単位	時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	2単位	
科目設置コース		ピアノ/管		教員の 実務経験の有無	該当		
担当講師 実務経歴							
実務経歴							

授業概要

1年次に修得した整調実技の能力を高め、時間短縮、技術向上のため、以下の内容を繰り返し行う。 「ピアノ調律技能検定 実技試験」の試験に向けた対策を行う。

到達目標

整調時間短縮、精度向上。

「ピアノ調律技能検定」実技試験」合格							
授業計画・内容							
【前期】 1~20回目	全24工程の反復練習。 ピアノ調律技能検定 実技試験に向けて試験内容に含まれる工程や手順の確認。						
	ピアノ調律技能検定 実技試験に向けてポイントとなる工程の練習						
【後期】	試験練習(30分×2セット) 判定後、直し						
21~40回目	試験練習(15分×3セット) 判定後、直し						
	1台整調						
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)						
備考							

授業科目名	整調応用実技(アップライト)B			授業形態 / 必・選	実習	選択
DANIE I	学則上表記	整調応用実技	(アップライト)B	年次	2年	次
授業時間	90分(1単位	西問45分)	80回(160単位時間)	年間単位数	5単位	
科目設置コース		ピアノ/管	教員の 実務経験の有無	該当		
担当講師 実務経歴 楽器店に15年ほど勤め、主にピアノ調律に関する業務に携わる。その後独立し、調律師として活躍中						
授業概要						

1年次に修得した整調実技の能力を高め、時間短縮、技術向上のため、以下の内容を繰り返し行う。 「ピアノ調律技能検定 実技試験」の試験に向けた対策を行う。

到達目標

整調時間短縮、精度向上。 「ピアノ調律技能検定 実技試験」合格

「ピアノ調律技能検定 実技試験」合格								
	授業計画・内容							
【前期】 1~20回目	全24工程の反復練習。 ピアノ調律技能検定 実技試験に向けて試験内容に含まれる工程や手順の確認。							
	ピアノ調律技能検定 実技試験に向けて ポイントとなる工程の練習							
【後期】	試験練習(30分×2セット) 判定後、直し							
21~40回目	試験練習(15分×3セット) 判定後、直し							
	1台整調							
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)							
備考								

授業科目名	整調応用実技(アップライト)C			授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	整調応用実技(アップライト)C		年次	2年	≅次	
授業時間	90分(1単位時間45分) 年間授業数			120回(240単位時間)	年間単位数	8単位	
科目設置コース		ピアノ/管		教員の 実務経験の有無	該当		
担当講師 実務経歴	楽器店に15年ほど薫	終器店に15年ほど勤め、主にピアノ調律に関する業務に携わる。その後独立し、調律師として活躍中					

授業概要

1年次に修得した整調実技の能力を高め、時間短縮、技術向上のため、以下の内容を繰り返し行う。 「ピアノ調律技能検定 実技試験」の試験に向けた対策を行う。

到達目標

整調時間短縮、精度向上。即戦力になるための技術を身に着ける。 「ピアノ調律技能検定 実技試験」合格

	授業計画・内容							
【前期】 1~20回目	全24工程の反復練習。 ピアノ調律技能検定 実技試験に向けて試験内容に含まれる工程や手順の確認。							
	ピアノ調律技能検定 実技試験に向けて ポイントとなる工程の練習							
【後期】	試験練習(30分×2セット) 判定後、直し							
21~40回目	試験練習(15分×3セット) 判定後、直し							
	1台整調							
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)							
備考								

2年次						
- 1 2 3						
10単位						
該当						
担当講師 実務経歴 楽器店に15年ほど勤め、主にピアノ調律に関する業務に携わる。その後独立し、調律師として活躍中						
無						

授業概要

1年次に修得した整調実技の能力を高め、時間短縮、技術向上のため、以下の内容を繰り返し行う。 「ピアノ調律技能検定 実技試験」の試験に向けた対策を行う。

到達目標

整調時間短縮、精度向上。即戦力になるための技術を身に着ける。 「ビアノ調律技能検定 実技試験」合格

ビアノ調保技能検定 実技試験」合格								
	授業計画・内容							
【前期】 1~20回目	全24工程の反復練習。 ピアノ調律技能検定 実技試験に向けて試験内容に含まれる工程や手順の確認。							
	ピアノ調律技能検定 実技試験に向けてポイントとなる工程の練習							
【後期】	試験練習(30分×2セット) 判定後、直し							
21~40回目	試験練習(15分×3セット) 判定後、直し							
	1台整調							
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)							
備考								

評価方法

備考

授業科目名	管楽	器リペアトレーニ	ングA	授業形態 / 必・選	実習	選択		
2011111	学則上表記	学則上表記 管楽器リペアトレーニングA		年次	2年	F次		
授業時間	90分(1単位)	時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	2単位		
科目設置コース		ピアノ/	管楽器コース		教員の 実務経験の有無	非該当		
担当講師 実務経歴								
			授業概要					
内容は原則として管	管楽器修理応用に準ずる	5.						
			到達目標					
	方法・意味の理解、作業 解し、状態を確認とメンラ							
			授業計画・内容					
	木管楽器リペア フルート タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ヘッドコルク交換・キィコルク交換・バネ調整・パーツ交 換							
	木管楽器リペア クラリネット タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ジョイントコルク交換・バネ調整・パーツ交換							
【前期】	木管楽器リペア サックス タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ネックコルク交換・バネ調整・パーツ交換							
1~20回目 【後期】	金管楽器リペア トランペット ハンダ付け・抜差管調整・パーツ交換							
21~40回目	金管楽器リペア トロン	レボーン スライド	停止帯交換・スライド	調整・パーツ交換				
	金管楽器リペア ホル	ン ロータリー調	整・抜差管調整・パー	ツ交換				
	金管楽器リペア ヘコ出し							

学期末の課題提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)

修理内容は履修の希望をとり、講師と話し合いのうえ決定する。 選択内容により楽器ごとの履修時間は異なる。

金管楽器リペア ヘコ出し

修理内容は履修の希望をとり、講師と話し合いのうえ決定する。 選択内容により楽器ごとの履修時間は異なる。

評価方法

備考

	Andre sales		. #*n	Intellerable / ht im	— 22	789 TC		
授業科目名	管楽器リペアトレーニングB			授業形態 / 必・選	実習	選択		
	学則上表記	管楽器リペ	アトレーニングB	年次	2年	次		
授業時間	90分(1単位8	寺間45分)	年間授業数	80回(160単位時間)	年間単位数	5単位		
科目設置コース		ピアノ/	管楽器コース		教員の 実務経験の有無	非該当		
担当講師 実務経歴								
			授業概要					
内容は原則として管	「楽器修理応用に準ずる) o						
			到達目標					
	方法・意味の理解、作業 に部分調整などの軽修3		 句上。					
			授業計画·内容					
	木管楽器リペア フルート タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ヘッドコルク交換・キィコルク交換・バネ調整・パーツ交換							
	木管楽器リペア クラリネット タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ジョイントコルク交換・バネ調整・パーツ交換							
【前期】	木管楽器リペア サックス タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ネックコルク交換・バネ調整・パーツ交換							
1~40回目 【後期】	金管楽器リペア トラン	金管楽器リペア トランペット ハンダ付け・抜差管調整・パーツ交換						
41~80回目	金管楽器リペア トロン	/ボーン スライド	停止帯交換・スライド語	周整・パーツ交換				
	金管楽器リペア ホル	ン ロータリー調整	整・抜差管調整・パーツ	ノ交換				

学期末の課題提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)

学則上表記 管楽器リペアトレーニングC 年次 2年次 授業時間 90分(1単位時間45分) 年間授業数 120回(240単位時間) 年間単位数 8単位 科目設置コース ピアノノ管楽器コース 教員の実務経験の有無 非該当 授業概要 内容は原則として管楽器修理応用に準ずる。 到達目標 経器修理各作業の方法・意味の理解、作業の精度・速度の向上。部分的な調整などの軽修理を中心に習得する。 授業計画・内容	授業科目名	管第	管楽器リペアトレーニングC 学則上表記 管楽器リペアトレーニングC			実習	選択		
# 計該当	IXATTOTI	学則上表記				2年	次		
担当講師 実務経歴 授業概要 特容は原則として管楽器修理応用に準ずる。 到達目標 経器修理各作業の方法・意味の理解、作業の精度・速度の向上。 必対的な調整などの軽修理を中心に習得する。 授業計画・内容 木管楽器リペア フルート タンポ交換調整・連動調整・パランス調整・ヘッドコルク交換・キィコルク交換・パネ調整・パー 換	授業時間	90分(1単位時間45分) 年間授業数 120回(240単位時間) 年間単位数					8単位		
大管楽器リペア フルート タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ヘッドコルク交換・キィコルク交換・バネ調整・パー	科目設置コース						非該当		
内容は原則として管楽器修理応用に準ずる。 到達目標 楽器修理各作業の方法・意味の理解、作業の精度・速度の向上。 部分的な調整などの軽修理を中心に習得する。 授業計画・内容 木管楽器リペア フルート タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ヘッドコルク交換・キィコルク交換・バネ調整・パー 換									
楽器修理各作業の方法・意味の理解、作業の精度・速度の向上。 部分的な調整などの軽修理を中心に習得する。 授業計画・内容 本管楽器リペア フルート タンポ交換調整・連動調整・パランス調整・ヘッドコルク交換・キィコルク交換・バネ調整・パー 換				授業概要					
楽器修理各作業の方法・意味の理解、作業の精度・速度の向上。 部分的な調整などの軽修理を中心に習得する。 授業計画・内容 木管楽器リペア フルート タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ヘッドコルク交換・キィコルク交換・バネ調整・パー 換	内容は原則として管	楽器修理応用に準ず	る。						
部分的な調整などの軽修理を中心に習得する。				到達目標					
木管楽器リペア フルート タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ヘッドコルク交換・キィコルク交換・バネ調整・パー 換				 可上。					
換 				授業計画·内容					
木管楽器リペア クラリネット タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ジョイントコルク交換・バネ調整・パーツ交換		木管楽器リペア フルート タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ヘッドコルク交換・キィコルク交換・バネ調整・パーツ交換							
		木管楽器リペア クラ	リネット タンポ交	喚調整・連動調整・バ	ランス調整・ジョイントコ	1ルク交換・バネ調整・	・パーツ交換		

【前期】 1~60回目

【後期】 61~120回目 金管楽器リペア トランペット ハンダ付け・抜差管調整・パーツ交換

金管楽器リペア トロンボーン スライド停止帯交換・スライド調整・パーツ交換

金管楽器リペア ホルン ロータリー調整・抜差管調整・パーツ交換

金管楽器リペア ヘコ出し

学期末の課題提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出 席率等を総合的に評価)

木管楽器リペア サックス タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ネックコルク交換・バネ調整・パーツ交換

備考 修理内容は履修の希望をとり、講師と話し合いのうえ決定する。 選択内容により楽器ごとの履修時間は異なる。

評価方法

備考

授業科目名	管楽	器リペアトレーニ	ングD	授業形態 / 必・選	実習	選択			
IX ATTO U	学則上表記	管楽器リペ	アトレーニングD	年次	2年	次			
授業時間	90分(1単位)	時間45分)	年間授業数	160回(320単位時間)	年間単位数	10単位			
科目設置コース	ピアノ/管楽器コース 教員の 実務経験の有無								
担当講師 実務経歴									
			授業概要						
内容は原則として管	を楽器修理応用に準ずる	5 .							
			到達目標						
	方法・意味の理解、作業 な調整を習得する。	ξの精度・速度の[向上。						
			授業計画·内容						
	木管楽器リペア フルート タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ヘッドコルク交換・キィコルク交換・バネ調整・パーツ交換								
	木管楽器リペア クラリネット タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ジョイントコルク交換・バネ調整・パーツ交換								
【前期】	木管楽器リペア サックス タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ネックコルク交換・バネ調整・パーツ交換								
1~80回目 【後期】	金管楽器リペア トラン	金管楽器リペア トランペット ハンダ付け・抜差管調整・パーツ交換							
81~160回目	金管楽器リペア トロ	ンボーン スライド	・停止帯交換・スライド	調整・パーツ交換					
	金管楽器リペア ホル	ン ロータリー調	整・抜差管調整・パーン	ソ交換					
	金管楽器リペア ヘコ	金管楽器リベア ヘコ出し							

学期末の課題提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)

修理内容は履修の希望をとり、講師と話し合いのうえ決定する。 選択内容により楽器ごとの履修時間は異なる。

	「エングハイング、	-	→ 100 HT 17				
授業科目名	管楽器リペアトレーニングE			授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	学則上表記 管楽器リペアトレーニングE			2年次		
授業時間	90分(1単位	時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	1単位	
科目設置コース		ピアノ/管	楽器コース		教員の 実務経験の有無	非該当	
担当講師 実務経歴							
			授業概要				
内容は原則として	管楽器修理応用に準ず	る。					
			到達目標				
楽器修理各作業 <i>σ.</i>)方法・意味の理解、作	業の精度・速度の向.	Ŀ.				
			授業計画·内容				
	木管楽器リペア フルート タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ヘッドコルク交換・キィコルク交換・バネ調整・パーツ交換						
	木管楽器リペア クラリネット タンポ交換調整・連動調整・バランス調整・ジョイントコルク交換・バネ調整・パーツ交換						
	木管楽器リペア サッ	ックス タンポ交換調	整・連動調整・バラン	ノス調整・ネックコルク3	を換・バネ調整・パーン	ツ交換	
【後期】 1~20回目	金管楽器リペア トラ	ンペット ハンダ付け	・抜差管調整・パー	ツ交換			
	金管楽器リペア トロ	レボーン スライド停	・止帯交換・スライド	調整・パーツ交換			
	金管楽器リペア ホル	レン ロータリー調整	・抜差管調整・パー	ソ交換			
	金管楽器リペア ヘコ						
評価方法	学期末の課題提出の 席率等を総合的に評		 理過程を加味した技	術点評価、及び平常点	(授業態度、レポート	提出状況・内容、出	

修理内容は履修の希望をとり、講師と話し合いのうえ決定する。 選択内容により楽器ごとの履修時間は異なる。

授業科目名		7インドアンサンブル	A.	授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	学則上表記 ウインドアンサンブルA			2年次	
授業時間	90分(1単位	時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース		ピアノ/管	寮楽器コース		教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	アンサンブルなどのメンバーとして活動のほか、大学や高校の講師としても活動。					
			授業概要			
奏楽曲の合奏。						
			到達目標			
色やリズムの作り)方、音楽の組み立て7	5の研究、楽器の演	奏技術向上。			
			授業計画·内容			
【前期】 1~20回目	 ・楽器演奏基礎向上 ・楽曲を決め、アンサ ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の ・演奏発表 	ンブル練習	ニー、スケール)			

学則上表記 ウインドアンサンブルA 年次 2年次 授業時間 90分(1単位時間45分) 年間授業数 20回(40単位時間) 年間単位数 1単位	授業科目名	-	フインドアンサンブル	LΑ	授業形態 / 必・選	実習	選択
#日設置コース ピアノ/管楽器コース 教員の 実務経験の有無 該当 授業概要 奏楽曲の合奏。 到達目標 色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。 授業計画・内容 「後期] ・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール)・音音を対し、アンサンブル練習・楽曲を決め、アンサンブル練習・楽曲にあった音色の作り方の練習・楽曲にあった音色の作り方の練習・演奏発表		学則上表記	学則上表記 ウインドアンサンブルA		年次	2年次	
上当講師	授業時間	90分(1単位	時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	1単位
接換機関 大学の対力がほどのぶりハーとして活動のほか、大学や高校の高時間としても活動。 接換機関 接換機関 接換機関 接換機関 上の作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。	料目設置コース		ピアノ/旬	≘楽器コース			該当
・		アンサンブルなどのメンバーとして活動のほか、大学や高校の講師としても活動。					
				授業概要			
色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。 「後期							
色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。 「後期				到法日標			
「後期]				到连日僚			
・楽器演奏基礎向上(メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブル練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表	色やリズムの作り	り方、音楽の組み立てた	ちの研究、楽器の源	寅奏技術向上 。			
【後期】 1~20回目 - 楽曲を決め、アンサンブル練習 - 音程やリズムの練習 - 楽曲にあった音色の作り方の練習 - 演奏発表				授業計画·内容			
評価方法 学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)		・楽曲を決め、アンサ ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の	ンブル練習 引	:ニー、スケール)			
	評価方法	学期末の試験、及び	平常点(授業態度、	レポート提出状況・「	内容、出席率等を総合的	りに評価)	